

オリオン座、さそり座、おおぐま座……現在私たちがよく耳にする星や星座は、西洋を起源とするものがほとんどです。とは言え、日本人が星空を見上げてこなかったわけではなく、昔から、もしかしたら今以上に、星に親しみ生活の助けとしてきました。神話の神々や怪物などに見立てられた西洋星座とは異なり、日本では星ならびを普段の生活や農作業などで使う道具にたとえてきました。現在ではその名を知る機会は減り、それがどんなものだったのかを知らない人も多いことでしょう。

本展示では、星や星座の和名とともに、その元になった民具を中心に実物資料を展示しています。ほかにも、天体にまつわる習俗や信仰なども解説します。本展示を通して、日本人がどのように星空を見ていたのか、そして日々の生活に星が深く根付いていたことを知っていただければと思います。



熨斗



馬鋤



箱枕



膳

© 大井正子



からす座

【特別展関連行事】

★特別展展示解説

日時：①10月30日(日) ②11月27日(日)
③12月11日(日) ④1月5日(木)
①・③は9時20分～10時
②・④は16時～16時40分

場所：博物館特別展示室 / 定員：各回20名

締切：①10月15日(土) ②11月13日(土)
③11月27日(日) ④12月22日(木)

★記念講演会

①「星の和名ーその収集のあゆみと多様性」

講師：北尾浩一氏(星の伝承研究室)
日時：11月13日(日) 15時30分～17時

②「里に降りた星たちを訪ねて」

講師：澤村泰彦氏(当館元館長)
日時：11月19日(土) 15時30分～17時

場所：博物館講堂 / 定員：各40名
締切：①10月29日(土) ②11月5日(土)

★体験学習「星になった民具を使ってみよう」

日時：1月6日(金) 13時30分～15時
場所：博物館講堂、屋外

定員：30名 / 締切：12月16日(金)

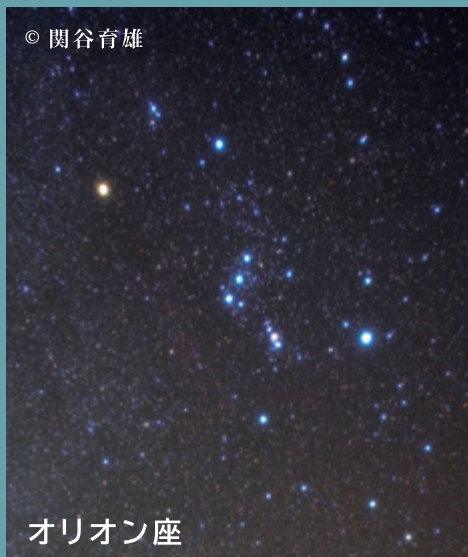
【申込方法】

- 往復はがき、またはWEBフォームからお申し込みください(当日消印有効、フォームの場合は同日中)。
- 往復はがきの場合、行事名・氏名・住所・電話番号を記入してください。
- 応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行います。
- 詳しくは、博物館HPをご覧ください。

申込フォームはこちらから▶



かつて、私たちの暮らしの中には、
“星”たちがあふれていました。



オリオン座



唐鋤



団子

© 関谷育雄



平塚市博物館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日：毎週月曜日(1/9は開館)、12/13(火)～1/3(火)
入館料：無料
アクセス：[徒歩] JR東海道線平塚駅(東口改札)、北口より約20分
[バス] コンフォール平塚前、または美術館入口で下車、徒歩3分